

地域の資源を活かし、育み、「水」「土」「里」の未来を拓く

秋田の山

あきたのとちかいりょう

土地改良



VOL. 521

2022
7.25 [Tue]

イメージキャラクター
みどりちゃん



「水かけ神輿」 撮影者/瀬川 正範

本号から表紙のデザインが変更となりました!今まで以上に「秋田の土地改良」を沢山の方にお届け出来ればと思います。

さて、表紙の写真は昨年度行われた第22回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクールにおいて優秀賞受賞作品「水かけ神輿」です。「清水の郷 美郷町」に相応しいお祭りの写真ですね。

水土里ネット秋田では、第23回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクールの作品を募集中です。皆様からの素晴らしい作品を心よりお待ちしております!

農業農村整備の集い



農を守り、地方を創る予算の確保に向けて

6月14日(火) 砂防会館別館「シェーンパッハ・サボー」で、土地改良事業の計画的・安定的な推進のための予算確保に向けた「農業農村整備の集い」が開催され、全国から土地改良関係者が約800名参加した。



会場の様子



挨拶をする全国水土里ネットワーク会長 藤原 進藤参議院議員

始めに二階俊博全土連会長が「令和4年度予算は組織一丸となって努力した結果、補正予算等と合わせて2年連続で6,300億円を確保することが出来た。皆様の日頃からの熱意ある活動に深く敬意を表するとともに、今後も政策目標を実現するために土地改良予算の確保に向けて懸命の努力をお願いしたい。また、男女共同参画の推進について、女性版の骨太方針2022に明記されたところであり、組織の活性化の手段として、令和7年度において理事の10%以上に女性が登用されていない土地改良区をゼロにする。この目標が達成できるように、みんなで頑張ってお手伝いしていただくと共に、理想の土地改良を実現するため皆様の協力をお願いしたい」と挨拶を述べた。

ご臨席の金子原二郎農林水産大臣、自民党の森山裕TPP・日EU・日米TAG等経済協定対策本部長のご祝辞をいただくとともに、多くの国会議員の皆様を駆け付けていただいた。



ガンバロウ三唱



鈴木財務大臣への要請活動

また、予算確保等の要請文提案の朗読と採択に続いて、進藤金日子全国水土里ネットワーク会長 藤原 進藤参議院議員からの農業生産現場の声として情勢報告が行われ、最後の「ガンバロウ三唱」では、男女共同参画の趣旨を踏まえ、元木真澄(やまがた水土里ネットワーク女性の会会長)をはじめ、各県の土地連、改良区の男女5氏による力強い「ガンバロウ」の発声と盛大な拍手をもって閉会した。集い終了後、採択された要請書により、高貝全土連副会長(本会会長)が、財務省で鈴木俊一財務大臣、阿久澤孝主計局次長に面会し、要請活動が行われた。

秋田県 農地集団化推進協議会

第62回通常総会を開催

6月21日(火)、秋田市のイヤタカにおいて、秋田県農地集団化推進協議会(判田勝輔会長)の第62回通常総会が本会高貝会長ほか来賓を迎え開催された。

議事に先立ち、令和4年度秋田県農地集団化事業優良地区の表彰が行われ、今年度は下淀川地区(秋田県協和土地改良区)が受賞された。



判田会長

議事では、判田会長が議長を務め、令和3年度事業報告と収支決算並びに令和4年度事業計画と収支予算等についての審議が行われ、提出議案は全て原案どおり承認された。



高貝会長

令和4年度秋田県農地集団化事業優良地区表彰



下淀川地区 (秋田県協和土地改良区)

秋田県 土地改良事業団体職員会

第62回通常総会を開催

6月24日(金) 秋田市の県社会福祉会館にて、秋田県土地改良事業団体職員会(畠山篤美会長)の第62回通常総会が開催された。



畠山会長

総会は、畠山会長の挨拶に続き、優良会員表彰が行われた。来賓の秋田県土地改良事業団体連合会 高橋篤史技監、県農林水産部 大山泰農地整備課長の祝辞が行われ、県農林水産部 足立徹政策監の紹介がされた。また、議事では、議長に根本由紀子氏(かつの土地改良区事務局長)を選任し、令和3年度会計収支決算等の審議が行われ、提出議案は全て承認された。総会に引き続き、県農林水産部 大山泰農地整備課長より「秋田県の農業農村整備について」情報提供がなされた。

優良会員表彰

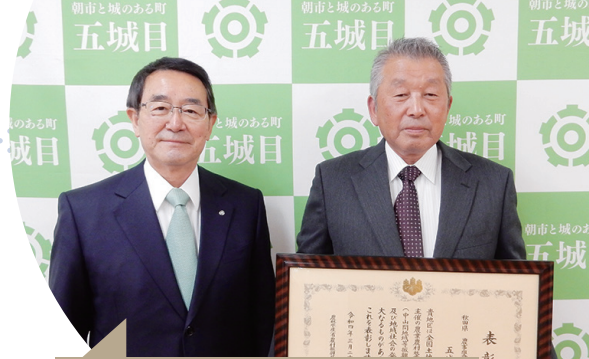


優良会員 受賞の皆様

上段左端から木村潤、佐々木隆、高橋英、鈴木勇太、藤原俊輔、下段左端から岩渕仁志、伊藤明美、畠山会長、佐々木優子、柿崎隆徳(敬称略)

五城目杉沢地区

(農事組合法人杉沢ファーミング)



(左) 渡邊彦兵衛町長
(右) 農事組合法人杉沢ファーミング
石川理事

全国土地改良事業団体連合会が主催する令和3年度農業農村整備優良地区コンクールにおいて、五城目町の五城目杉沢地区(杉沢ファーミング)が農村振興局長を受賞しました。

年度末に予定されていた表彰式は、新型コロナウイルスの影響で中止となったため、5月9日に秋田県土地連が杉沢ファーミングを訪れ、表彰状を伝達しました。その後、五城目町役場を訪問し、渡邊彦兵衛町長に受賞報告を行いました。



農事組合法人杉沢ファーミングの皆さん

地区内選果場での
枝豆選果作業



秋田市内高校との
交流



若手職員による
田植え作業



受賞地区概要

五城目杉沢地区では、将来にわたり地域農業や保全管理体制を維持していくため、「農事組合法人杉沢ファーミング」を設立し、基盤整備事業に取り組みました。その結果、排水環境の改善によって水田の汎用化が可能となり、高収益作物の導入が進み、県や町の奨励作物である枝豆の取組面積は事業実施前の6倍にあたる6.6haに拡大しました。同法人の売上高は事業実施前の2倍以上となり、着実に実績を伸ばしています。

このように安定した経営が実現したことから、同法人では20代の若手職員2名を採用し、収穫作業や機械オペレーションで大きな戦力となっています。

また、杉沢地区を含む馬場目川流域の美しい景観や豊かな資源を後世に伝えるため近隣の集落と連携した地域づくりを行っており、廃校を利用した活動拠点づくりや地区外交流、高齢者の生きがいを生み出す活動など積極的に取り組んでおり、中山間地域の維持、活性化のモデル地区となることが期待されています。

【事業概要】

事業主体	秋田県		
事業名	農地集積加速化基盤整備事業		
工期	平成24年度～平成30年度		
受益面積	31.6ha	受益戸数	44戸
標準区画規模	事業実施前 未実施 → 完了後 50a		
主要工事	区画整理工、用水路工、排水路工、農道工、暗渠排水工		
関係土地改良区	馬場目川水系土地改良区		
関係市町村	五城目町		

目次

CONTENTS

農業農村整備の集い～農を守り、地方を創る予算の確保に向けて～
秋田県農地集団化推進協議会第62回通常総会を開催
秋田県土地改良事業団体職員会第62回通常総会を開催
令和3年度農業農村整備優良地区コンクール
中山間地域等振興部門・農村振興局長賞受賞
秋田県農林水産業・農山漁村振興基本計画
「新ふるさと秋田農林水産ビジョン」
農地集積加速化基盤整備事業「杉沢地区」(秋田市)のご紹介！
水土里のゴミゼロ活動報告
女性事務局長に聞く！土地改良区リレーインタビュー
(かつの土地改良区：事務局長 根本 由紀子)

2 農家キッチン「あるもんで」のお母さん直伝！
2 夏野菜を使った簡単レシピのご紹介
2 未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展
10 令和4年度秋田県土地改良事業推進大会
10 連合会日誌
11 「随想」(新城川土地改良区：作山 聖子)
11 第44回全国土地改良大会 沖縄大会
12 水土里レポーターによる写真投稿(琴丘土地改良区：主任 近藤 雄平)
12 春の叙勲
12 会員だより
12 リレー感想文、編集後記

秋田県農林水産業・農山漁村振興基本計画

－「新ふるさと秋田農林水産ビジョン」について－

「新ふるさと秋田農林水産ビジョン」とは？

秋田県では、平成22年度から12年間、「ふるさと秋田農林水産ビジョン」に基づく施策・事業に取り組み、「米依存からの脱却」と「農業産出額の増大」を目標に複合型生産構造への転換を推進してきました。時代の潮流に的確に対応し、これまでの取組をもう一段ステップアップしつつ、将来の労働力不足やカーボンニュートラルへの対応、スマート技術等を駆使した次世代型農林水産業の推進など新たな視点を加えながら、これまでの「ふるさと秋田農林水産ビジョン」を見直し、令和4年度から令和7年度までの4年間の県農林水産行政運営の指針として策定したものです。

「新ふるさと秋田農林水産ビジョン」の目指す姿

～おおむね10年後の姿～

「担い手の笑顔が咲き誇る農林水産業」

スマート農林水産業の普及などの技術革新により、省力化や効率化が大幅に進展するとともに、経営力の高い担い手の確保や農産物等のブランド化・販路拡大が進み、本県の広大な農地や豊富な森林資源をフルに生かして、競争力の高い農林水産業が力強く発展しています。

また、中山間地域ならではの農業・農村ビジネスの振興や、半農半Xの普及などにより、関係人口の拡大や定住の促進が進み、多様な人材の活躍により農山漁村が活性化しています。

「食料供給基地として高まる存在感」

園芸メガ団地や大規模畜産団地などを核とした園芸・畜産の生産基盤の強化により、全国に名を馳せるトップブランド産地の形成が進むとともに、大区画ほ場におけるスマート技術を駆使した高品質・低コストな米づくりや、蓄養殖技術の確立・普及による水産物の安定生産などにより、我が国の食料安全保障に寄与する食料供給基地として、大きな存在感を示しています。

「県産農産物のブランド化」

「サキホコレ」がトップブランド米としての地位を確固たるものにするとともに、多様化する国内外のニーズに対応した商品・産地づくりなどにより、県産農産物のブランド化が進んでいます。

「最先端技術の活用拡大」

農業・林業・水産業の各分野において、スマート技術が普及し、担い手が減少している中であっても、本県の資源をフルに活用し、生産性が高く効率的な生産活動が行われています。また、SDGsや環境に対する関心が高まる中、農林水産業の生産力向上と脱炭素化や環境負荷軽減といった持続性の両立に向けた技術の開発と普及が進んでいます。

目指す姿1 農業の食料供給力の強化 (農業農村整備関係抜粋)

経営力の高い担い手が持続的・効率的な生産体制により、本県の広大な農地をフルに活用して、食料供給を担っていく農業の実現を目指します。

〈主な数値目標〉

■ほ場整備面積

現状(R2) 90,981ha → 目標(R7) 94,540ha

【施策の方向性】

・持続可能で効率的な生産体制づくり

【主な取組】

- ・スマート技術体系の現場実証
- ・水田の大区画化やスマート農業に対応した基盤整備の推進
- ・農業水利施設の保全管理やICT等を活用した水管理の推進

目指す姿2 林業・木材産業の成長産業化

「伐って・使って・植える」という森林資源の循環利用により、林業・木材産業の成長産業化と森林の多面的機能の持続的な発揮の両立を目指します。

目指す姿3 水産業の持続的な発展

新規就業者が安定的に確保されるとともに、収益性の高い魚種の資源量が維持される中で、効率的・安定的な操業と販売力の強化を実現することにより、水産業の持続的な発展を目指します。

目指す姿4 農山漁村の活性化

中山間地域ならではの農業・農村ビジネスの振興や新たな兼業スタイルの普及により、多様な人材が活躍する農山漁村の実現を目指すとともに、激甚化する自然災害に備えた防災・減災対策や老朽化施設の長寿命化対策を推進します。

【施策の方向性】

・安全・安心な地域づくりと施設の長寿命化の推進

【主な取組】

- ・防災重点農業用ため池等の防災・減災対策と治山対策の推進
- ・基幹的農業水利施設・漁港海岸保全施設・治山施設等の計画的な修繕・更新の実施

(新ふるさと秋田農林水産ビジョンより抜粋)

詳しくは秋田県公式サイト美の国あきたネット『「新ふるさと秋田農林水産ビジョン」について』をご覧ください。

URL : <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/64268>